

ボール名

BREAK-POINT

センター名

アイビーボウル向島

投球者

バンデル

日付

レイアウト

テストボール

BREAK-POINT

PAP⇒ピン 4-1/2

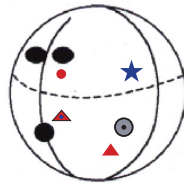
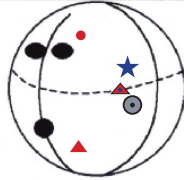
表面加工

比較対象ボール

ボール名 **BOUNTY**

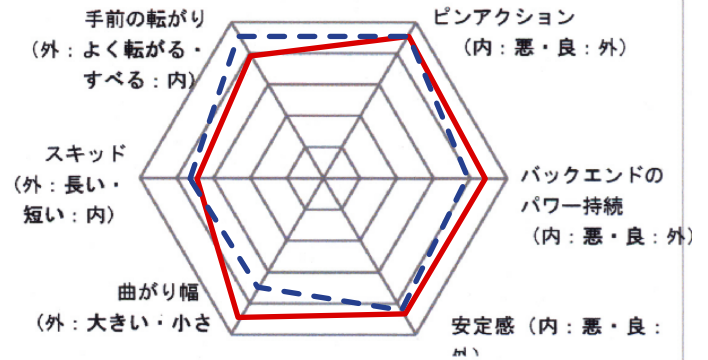
PAP⇒ピン 4-1/2

表面加工

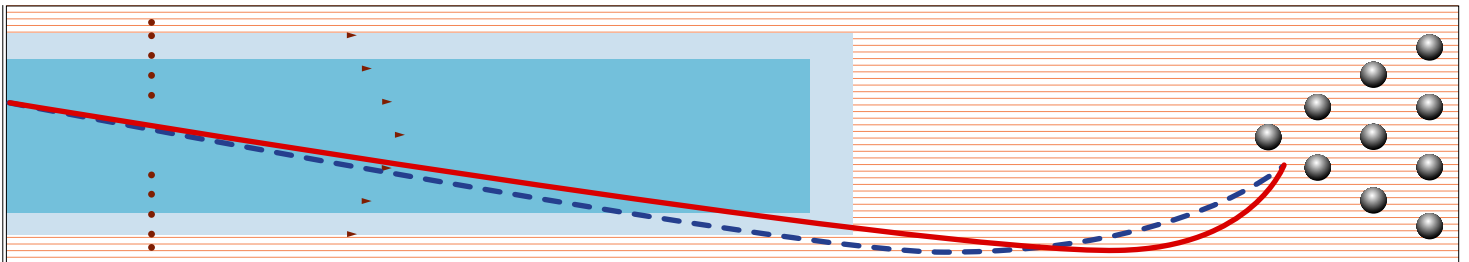


● ピン ☆ PAP ▲ CG ⊙ バランスホール ▲ マス 17s

特性チャート



—— (BREAK-POINT) - - - - - (BOUNTY)



総合評価

前回、リリースされた「バウンティ」は、安定感のあるスキッドと曲がりのバランスの良さで、スコアメイクに必要な要素を十分に備えているボールだと思っていた。

ただ、キャリーダウンが激しくなり、奥でのキレが必要だったり、ハイスコレーンをより攻撃的に攻める場合など、動きに物足りなさを多少感じていたのも事実だった。

その時に取りだしていたのは「ブレイクS75」。

オイルに対する安定感は同様に高く、奥での動き幅が大きく、より攻撃的なラインを使うことが出来た。

今回発表された「ブレイクポイント」のカバーは「S73」という表記だが、オイルに対する強さは「S75」より強く感じられる。

奥での動きはさらに強くなり、外に向ける必要がある場合でも、思い切って向けることが出来る。

コアとカバーのバランスやRGの変更など、総合的なポテンシャルが上がっていることがその要素だと思われるが、ここまでしっかりと動きの出るボールは久しぶりかもしれない。

グローバル900というメーカーの実力が、遺憾なく発揮されたボールだと感じさせられた。

